

## 北海道新幹線 羊蹄トンネル(有島)他工区の掘削停止について

羊蹄トンネル（有島）他工区では、令和6年11月に岩塊を除去して掘削再開しておりましたが、新たな岩塊に遭遇したと判断したため、トンネル掘削を停止し、岩塊の撤去作業に着手しますので、お知らせいたします。

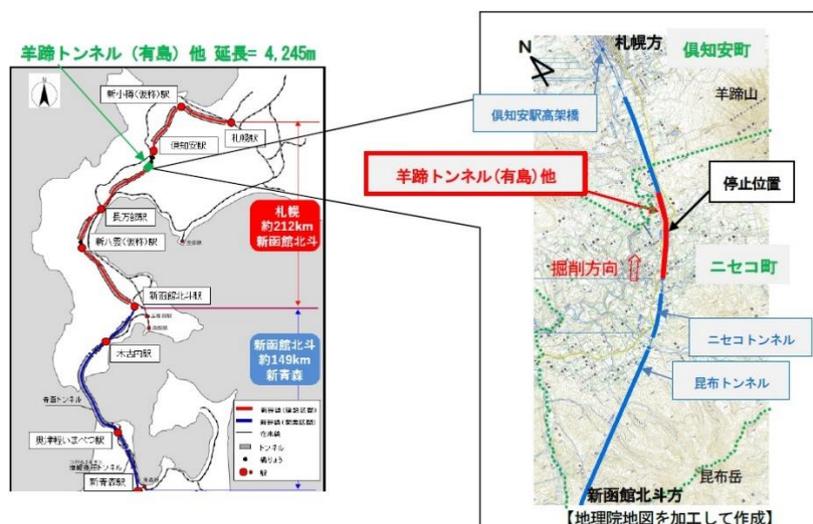
北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の羊蹄トンネル（有島）他工区（工区延長4,245m）は、令和6年11月18日からシールドマシンを使用したSENS（センス）工法<sup>\*1</sup>によりトンネル掘削を再開しておりましたが、11月19日に、シールドマシンのカッタートルクが複数回上限値に達したため、新たな岩塊に遭遇したと判断し、掘削を停止いたしました。

新たな岩塊の出現の可能性を想定して現場に存置していた岩塊撤去のための資機材を用いて、11月25日からオールケーシング工法<sup>\*2</sup>による地上からの岩塊の撤去作業を開始すべく、速やかに準備を進めます。引き続き安全に留意して工事を進めてまいります。

なお、今後の工事の状況については、当機構ホームページの「北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）工事進捗状況（<https://www.jr-tt.go.jp/project/hokkaidoproggresslist.html>）」に掲載いたします。

※1 SENS（センス）とは、シールドマシンを用いて掘削を行い、掘削と同時にコンクリート（現場打ち）でトンネル内面を覆う工法で、シールド工法とNATMを併せたトンネル工法です。

※2 オールケーシング工法とは、地上からケーシングと呼ばれる鉄製の筒を回転しながら地盤に挿入し、ケーシングの中を掘削することで岩塊を取り除く工法です。



<本件に関するお問合せ先>  
北海道新幹線建設局 総務部 広報・渉外課  
TEL: 011-231-3456